



自民党豊島区議団

# 細川 正博

【豊島区議会レポート】 Vol. 4  
～平成24年第1回定例会～

平成24年5月発行

## 【はじめに】

昨年の統一地方選挙にて皆様に区政の壇上へ送り出して頂いてから、ちょうど1年が経ちました。議会日程の1年間の流れも大体分かりましたので、今年度は区政報告会など定期的な活動を加え、より精力的に活動をする所存です。

引き続き皆様のご支援と、至らぬところのご指導、宜しくお願い致します。

今年度は区政施行80周年の区切りの年であるとともに、既に内定を頂いているWHO(世界保健機構)によるセーフコミュニティの認証取得を得る年でもあります(5月に正式認証)。

予算に制約がある中ではありますが、記念イベントも組まれております。

沈滞ムードを吹き飛ばし、豊島区を明るくする起爆剤になることを期待しております。

## 【平成24年第1回定例会】

2月17日(金)～3月26日(月)の会期で、第1回定例会が開かれました。

### 【主な議題】

- ・平成24年度豊島区一般会計予算、特別会計予算
- ・補正予算について(総額約4.3億円。新たな支出は生活保護費の追加計上等の一部のみ。公共施設再構築基金積立額(子ども手当の減額に伴う経費減額分等を積立)が大半です。)
- ・豊島区介護保険条例の一部を改正する条例(介護保険料のUPについて)
- ・豊島区教育委員会委員の任命(任期満了に伴い、3名の委員の交代がありました)
- ・その他、専決処分報告、都から区へ権限が移譲されたことに伴う条例改正など

今回の議会では、何と言っても平成24年度の予算の審議がメインでした。

一般会計の予算規模は約992億円と前年度に比べて約38億円のマイナス。公債費、人件費の減少、子ども手当制度の見直しによる歳出減などで予算規模が小さくなりました。わかりづらいと思いますが、区民生活へ直接影響を及ぼす項目への大きな歳出削減はしていません。財源対策として財政調整基金(自治体の貯金)を約19億円の取り崩し。平成24年度末の財政調整基金の残高見込みは約34.7億円、このペースでは後2年で底を突いてしまいます。平成25年度予算編成時には、更なる歳出への切り込みが必要でしょう。

私が所属する子ども文教委員会に付託された主な案件は、扶養控除廃止に伴う保育料負担を抑える条例、要町保育園の分園の設置、目白小の改築工事等に伴う条例改正、と陳情が1件。

条例案は全て可決(自民は可決に賛成)。陳情は池袋本町の校舎併設型小中連携校設置に慎重な立場のもの。行政と地元との意思疎通をきちんと図れば解決できる課題が大きかったため、我々は地元との話し合いを今後も継続することを行政に求め、閉会中の継続審議請願を主張しました(結果は継続審議)

### 〔視察報告〕

4/14～16にかけて行った福島県、山形県米沢市について、ご報告いたします。

#### 《福島第一原発警戒区域内視察》

まずは福島第一原発の警戒区域の視察についてです。

20km 圏内には無断で立ち入ることはできません。検問で止められ、許可のチェック等が行われます(往復共に)。



浪江分署でお話を伺いました。常駐の方はおらず、20km 圏外から毎日署員が通勤。

- ・津波と地震による被害だけであれば被災翌日から復興に向かえるが、福島は放射能の問題を抱えているために中々復興は進まない。
- ・現在も捜索活動は続けている。線量計を持ちながら交代で少しずつ。
- ・周辺の放射線量は、事故後暫くは2～5 $\mu$ Sv/h だったが、今は十分の一くらいの数値。
- ・治安面での反省点として、始めは窃盗などが問題になる事はなかったが、原発事故後の退避をした後に空き巣が出てしまったこと。

分かりづらいですが、遠くにうっすら見えるのが福島第一原発、直線距離で約7km の地点です。

この辺りの放射線量は0.1～0.2 $\mu$ Sv/h 程度。

20km 圏内かどうかに関わらず、放射線量は場所によってバラツキが大きく、山側の方が高い傾向にあります(今回視察したのは沿岸部が中心で線量は低め)。

ちなみに、豊島区のガイドラインの除染基準は0.23 $\mu$ Sv/h 以上(1m Sv/年を超えない数値)です。



20km 圏内に立ち入った人は、放射性物質の付着がないか例外なくスクリーニングを受ける必要があります。

20km 圏内はがれきの処理ができず、時間が止まった状態でした。

地元の方に伺ったところ、地元へ残りたい人の中でも、いずれ以前住んでいたところに戻りたいと考えている人と、市町村は変えたくないが以前の住まいよりも高台を希望している人がいるとのこと。

被災者の方に必ず言われるのは「忘れないで欲しい」ということ。

南相馬市の避難区域の区分再編が 4/16 に行われました。

震災から一年が経ちましたが、避難区域になっていたところにとっては、まだまだ復興に向けて一緒に付いたばかり。

我々にできることは東日本大震災、そして福島第一原発事故を絶対に風化させないことです。

## 《山形大学有機 EL 研究センター視察》

米沢市にある山形大学有機エレクトロニクス研究センター、この分野で世界一の研究拠点です。実績は”ノーベル賞級”といわれる城戸淳二教授にお時間を頂き、お話しを伺いました。



実験機械は安いものでも数百万、高いものは数千万円。

研究の予算はただ待つのではなく、実績とネットワークを駆使して確保します。分野の中で競り勝って1位ではなく圧倒的ナンバーワンだと予算がつきやすい。この世界、1位でなければダメなのです。

有機 EL の照明は非常に薄く照度も充分で、紙のようにペラペラでも発光可能とのこと。近い将来、丸めてポケットに入れて持ち運ぶ「iPad」が開発されているかもしれません。

米沢市をシリコンバレーのようにしたい、と熱く語る城戸教授。

日本は技術を磨くしかないが、その中心となるのは近い将来、中国人や韓国人の研究者だろうというご指摘。

以前と比べると日本人の学生のレベルは落ちている。親や社会に甘やかされている上に好奇心や意欲が薄れている。中国人や韓国人とは貪欲さが違い、特に中国は人材の厚みがある。

以前からこのようなご指摘は各方面からありましたが、世界最先端の技術を持つ教授から、日本をこれまで支えてきた”ものづくり”の面でご指摘を受け、改めて危機感を覚えました。

人材の育成、伸びたいと思う子が伸びる教育環境を整えねばなりません。

## 《米沢市の道徳教育視察》

米沢市の方々には、旧米沢藩の藩祖である上杉謙信公、中興の祖である上杉鷹山公を始めとする旧米沢藩へ敬愛の念を持ち続けています。その一端が道徳教育にも表れていました。



道徳郷土資料「ふるさと 米沢の心」郷土にまつわる昔話、郷土から輩出した人物のエピソードなど。上杉鷹山公の逸話も多く収録されています。



道徳授業の様子。授業中、先生方、子供達も自然に「鷹山公」と呼んでいたのが印象的でした。



体育館には謙信公と鷹山公の像が掲げられています。郷土の英雄として完全に定着していることが伺えます。

・道徳郷土資料は昭和56年から導入。当初から教職員・親含めて反対意見は無し。米沢の誇りである歴史と偉人を子供達に伝えるのは当然だ、という思いが共有されている。

・教師の初任者研修でも地域として大切な人物や歴史は必ず教えている。

郷土の英雄を学ぶことを通じて郷土に誇りを持つことができる、参考にしたい道徳教育です！

## 【大塚駅周辺整備事業、JR 大塚駅南口ビル（仮称）について】

大塚駅整備事業とは、既に完了した大塚駅南北自由通路の整備を含む一連の駅前整備事業のことです。

- ・大塚駅南口に1000台規模の地下駐輪場整備(平成27年度完成予定)
- ・南口の都バス停留所等を移設して歩行者優先の駅前広場を整備(平成27年度末完成予定)
- ・大塚駅北口の整備(平成28年度以降)

これとは別に、JR 東日本による12階建ての駅ビル(JR 大塚駅南口ビル(仮称))の建設も進められております。こちらは平成25年秋に開業予定(運営会社は(株)アトレなど)です。

大塚にとっては、数十年に一度あるかないかの大きな事業です。駅ビルの建設は地元商店にとっては脅威ですが、人の流れが大きく変わるチャンスともいえます。駅ビル建設がJR 東日本のみならず、地元住民、駅利用者、商店街などにとってもよいものになるよう願います。

地元商店街、商工会、町会の方々と行政職員との意見交換の場である「大塚駅周辺を考える会」にて、大塚駅周辺整備事業について話し合いをしています。4月に行われた会議では、パブリックコメントの結果、緑化計画について、都電や都バス停留所への動線についてなどが話し合われ、地元の要望につき9月頃までに最終的な方向性を打ち出すこととなりました。

JR 大塚駅南口ビル(仮称)建設工事の様子



## 【4月28日は日本の主権回復の日】

1952年4月28日は、サンフランシスコ講和条約の締結日、今年の4月28日はちょうど60年に当たる節目の日でした。自民党は主権回復60周年の日に、憲法改正草案を発表しました。これを国民全体が戦後日本の抱える問題について、今一度考え直すきっかけにせねばなりません。

## 【編集後記】

5月23日は、今年度の議長や委員長、所属委員会等を定める議会があります。個人にも希望は聞かれますが、会派や他会派とのやり取りもあるので、所属委員会が変わるかもしれません。

※月に1回程度、活動報告をメールマガジンでお送りしております。ご希望の方はメールや電話でお問い合わせください。

### 子供達の世代へ責任ある政治を！！

発行責任者：細川 正博

住 所：〒170-0005

東京都豊島区南大塚 1-51-17

TEL/FAX：03-3945-2530

e-mail：[info@hosokawamasahiro.jp](mailto:info@hosokawamasahiro.jp)

公式サイト：<http://www.hosokawamasahiro.jp/>

Twitter：@toshimahosokawa

Facebook：<http://www.facebook.com/hosokawamasahiro>

※ご意見、ご感想、ご要望をお寄せ下さい。